

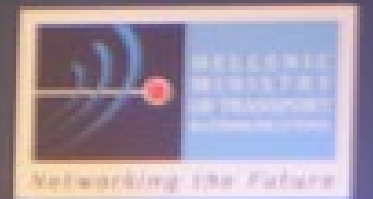
国連IGF会議 ～初期の会合を中心に

IGF オリエンテーションフォーラム

2023年4月14日

IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム
チェア 加藤幹之

en s G R E E C E 2 0 0 6 interNET GOVERNANCE FORUM



第1回IGFアテネ会議
(2006年)

壮大な実験とも評された、
10人を超えるパネリストに
よるインタラクティブな
3時間に及ぶセッション



日本から今井義典氏（元NHK副会長、ヨーロッパ総局長）がモデレーターとして参加



第2回リオデジャネイロ会議（2007年） 日本からも企業や総務省幹部が多数参加



第3回ハイデラバード会議（2008年）

加藤は前年の爆破テロ事件の影響等でリモート参加



第4回シャルム・エル・シェイク会議（2009年）～エジプトの観光地



会場周辺の様子

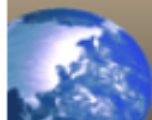
エジプト会議の主な登壇者 = 政府関係者は「アラブの春」でその後降板



トリビア

「アラブの春」 (外務省サイト)

[外務省: 「アラブの春」と中東・北アフリカ情勢 \(mofa.go.jp\)](https://www.mofa.go.jp)



「アラブの春」と中東・北アフリカ情勢

「アラブの春」とは、2011年初頭から中東・北アフリカ地域の各国で本格化した一連の民主化運動のことです。この大変動によって、チュニジアやエジプト、リビアでは政権が交代し、その他の国でも政府が民主化デモ側の要求を受け入れることになりました。今回は「アラブの春」による中東・北アフリカ情勢とその動きに呼応した国際社会と日本の支援について紹介します。

■ 2011年の「アラブの春」とは？

北アフリカのチュニジアで発生した反政府デモに端を発し、中東・北アフリカ諸国に拡大した「アラブの春」は、長期独裁政権が続いていたチュニジアやエジプトでは大統領が退陣、リビアでは反体制派との武力衝突を経た政権交代が行われるなど、かつてない大規模な政治変動となりました。それまで極めて限定的にしか政治参加できなかった一般の民衆が変革の原動力となった点がこの政治変動の大きな特色で、経済的格差や独裁政権による統制、政治参加の制限等に対する民衆の不満の高まりがその背景にあります。反政府運動に参加した民衆はツイッターやフェイスブックなどのソーシャルネットワーキングサービス（SNS）や衛星放送等のメディアによって連帯と情報共有を図っており、かつてないスピードで国境を越えて民主化運動が拡大していきました。



「アラブの春」と中東・北アフリカ地域 (2012年5月現在)



■ チュニジア～「アラブの春」の端緒となった民衆による政変

「アラブの春」の発端となったのは、2010年12月17日、チュニジアの一人の失業中の青年が、路上販売に対する当局の取り締まりに抗議して焼身自殺を図った事件でした。その後から各地で起きた大規模デモを背景に



第6回ナイロビ会議（2011年） 会場入り口の様子



ナイロビの会場



ナイロビでは 郊外へも



第7回バクー一会議 議 (2012年)



2012/11/

Masanobu Kato (c) 2023



2012/11/06

- バクーの町とIGF
会議のディナー





第8回バリ会議 (2013年)

IGF会議は地域ごとの会議も バヌアツでのAPrIGF会議（2018年）の例



若者がリードするIGF—— 第17回アジスアベバ会議（2022年）の例

- ワークショップ#491
- 表題：The future of Interplanetary networks-A talk with Vint Cerf = 「惑星間のネットワークの未来—Vint Cerfと話す」
- 主催者：Internet Society Youth Standing Group、Queer in AI ([Queer in AI](#))、Youth Coalition on Internet Governance (YCIIG)
- [IGF2022 - Day 2 - CR3 - WS #491 The future of Interplanetary networks A talk with Vint Cerf – YouTube](#) 参照



the topic. Thank you.
 >> MOHAMMAD ALI JAUHAR: Hello, everyone. Good morning, good afternoon. Today, we will talk about the Future of Interplanetary Network

0:06 / 1:02:36

⏮ ⏪ 🔊 🎧 ⏩ ⏭ ⚙️ 🗑️ 🗑️ 🗑️

IGF2022 - Day 2 - CR3 - WS #491 The future of Interplanetary networks A talk with Vint Cerf

 **Internet Governance Forum (IGF)**
 チャンネル登録者数 4350人

🔔 登録済み Masanobu Katoh (c) 2023

👍 1 | 💬 | ➦ 共有 | ⬇️ オフライン | ⋮

惑星間ネットワーク(IPN)=地球と惑星の間や惑星同士の間での通信ネットワークのこと

- 惑星間の通信は往復で数十分以上かかる
- NASAの月面有人着陸のアルテミス計画でも議論。技術標準等、検討が続いている
- 技術的問題に加え、政治的問題（世界の国々で管轄権など共通の制度がないこと）、法的問題（技術標準に特許権を主張する者が存在することなど）が議論された
- 若者が企画したセッション：79歳のVint Cerfが、惑星間ネットワークというずっと将来の技術に取り組み、ユースと語りあうことは印象的だった

参考資料――IGFとは

IGFとは

出典：[IGFとは :: JapanIGF](#)

- [インターネットガバナンスフォーラム\(Internet Governance Forum, IGF\)](#)は、[国際連合主催の世界情報社会サミット\(World Summit for Information Society, WSIS\)](#)で設置が打ち出された会合であり、社会的な影響を含むインターネットのさまざまな課題に関して、広くさまざまな関係者が「対話」する拘束力のない「場」として、2006年に設けられました。以降毎年開催され、2025年までの開催が決まっています。このIGF会合が、2023年に日本で開催されます。
- IGFは、国連加盟国を始めとする政府や政府間組織だけでなく、民間セクター、技術コミュニティ、市民社会からもこの対話に参加する「マルチステークホルダーアプローチ」を採っており、幅広い参加者が課題解決に向けた知恵を出し合うという考え方によって、有意義な議論がなされています。
- 「対話」のテーマは、現代社会におけるさまざまな重要課題にわたります。

IGFの議題の例（2021年の例）

出典：[IGFとは :: JapanIGF](#)

- 環境持続性と気候変動
- 信頼、セキュリティ及び安全性
 - 外交・国家安全保障、人権・表現の自由、サイバーセキュリティ政策、重要インフラ・公共機能の保護、セキュリティに関する能力開発、セキュリティ技術
- 新興規制：市場構造、コンテンツ、データおよび消費者／利用者の権利に関する規制
 - プラットフォーム規制と言論の自由、デジタル自己決定・デジタル自律、データガバナンス・データ流通、個人情報保護・消費者保護、中小企業政策
- 包摂的インターネットガバナンスエコシステムおよびデジタル協力
 - インターネットガバナンス全体論・未来、ユース、能力開発、コンテンツ制作・コンテンツ規制、オープンソース
- ユニバーサルアクセスおよび意味のある接続性
 - 接続性、リテラシー・能力開発・弱者保護
- 経済・社会的包摂及び人権
 - 感染症禍、リテラシー、人権、AI

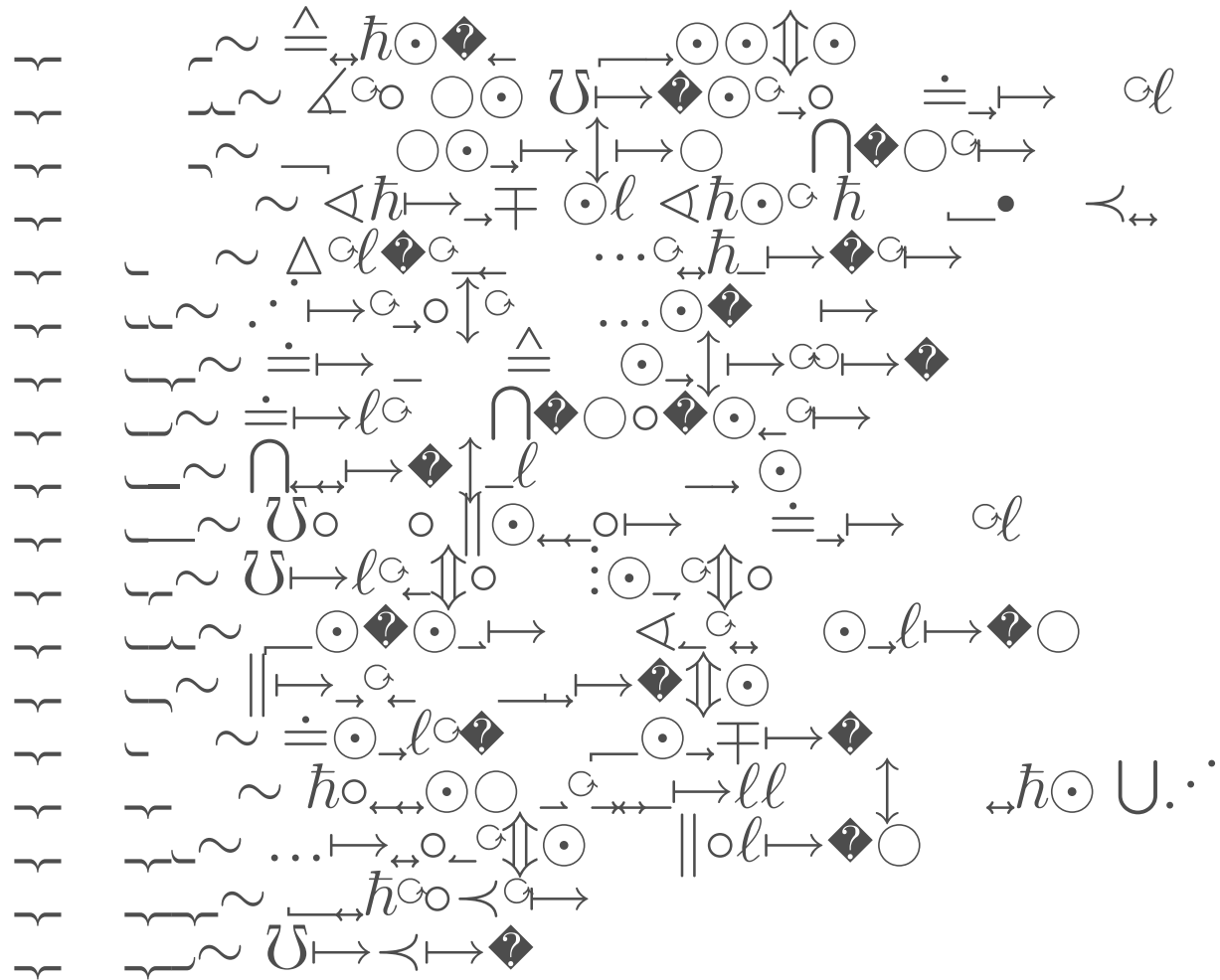
IGF京都会議のテーマ

メインテーマ： $\hbar \circ \cap \leftrightarrow \circ \rightarrow \diamond \circ \leftrightarrow \square \circ \square \mapsto \diamond \leftrightarrow \quad _ \mp \prec \circ _ \circ \rightarrow \diamond \bullet \hat{=} ll$
 $\parallel \circ \circ \prec l \circ$

8つのサブテーマ

- $\hat{=} \cap \cdot _ \mp \circ \rightarrow \bullet \diamond \bullet \quad \circ \updownarrow \hbar \diamond \circ l \circ \bullet \circ \circ _$
- $\hat{=} _ \circ \circ \circ \diamond \bullet \cap \diamond \leftrightarrow \circ \rightarrow \diamond \circ \leftrightarrow _ \mapsto \mapsto \bullet \mp \circ \diamond \leftrightarrow \mapsto _ \circ \diamond$
- $\amalg \updownarrow \circ _ \circ \updownarrow _ \circ \quad \amalg \updownarrow \circ _ \updownarrow _ \circ \mp \circ \mapsto \diamond \circ \cdot \cdot \diamond l \circ \diamond \circ \triangle \mapsto \succ \circ _ \leftrightarrow$
- $\lambda \mapsto _ \mapsto _ \circ _ \circ _ \diamond \mapsto \diamond \updownarrow \circ \mapsto \diamond \circ \quad _ \leftrightarrow \leftrightarrow$
- $\lambda \circ \circ _ \mapsto l \lambda \circ _ \circ \circ _ \mapsto \diamond \circ \cap \diamond \updownarrow l _ \circ \diamond$
- $_ l \circ \updownarrow \mapsto l \lambda \circ \circ _ \mapsto l _ \circ _ \circ _ \diamond \mapsto \diamond \updownarrow \circ \mapsto \diamond \circ \amalg \circ \circ \prec \circ _ \mapsto _ \circ \diamond$
- $_ \mp \mapsto \diamond \triangle \circ \bullet \hbar _ \mapsto \diamond \circ _ \mapsto \circ \circ \circ \circ \mp _$
- $\triangle _ \mapsto _ \mapsto \diamond \mapsto \updownarrow \circ l \circ \quad \cdot _ \diamond _ \circ \diamond \mp \circ \diamond _ \leftrightarrow$

IGF会議のこれまでの開催地



参考：WGIG報告書(2005年7月)

インターネット・ガバナンスの作業上の定義

インターネットガバナンスとは、「インターネットの展開と利用を形作る、共有化された原則、標準、規則、意思決定手続き、プログラムを、政府、民間部門、市民社会がそれぞれの役割において、開発し適用すること」であるとされた。

インターネットガバナンスメカニズムに関連する提言

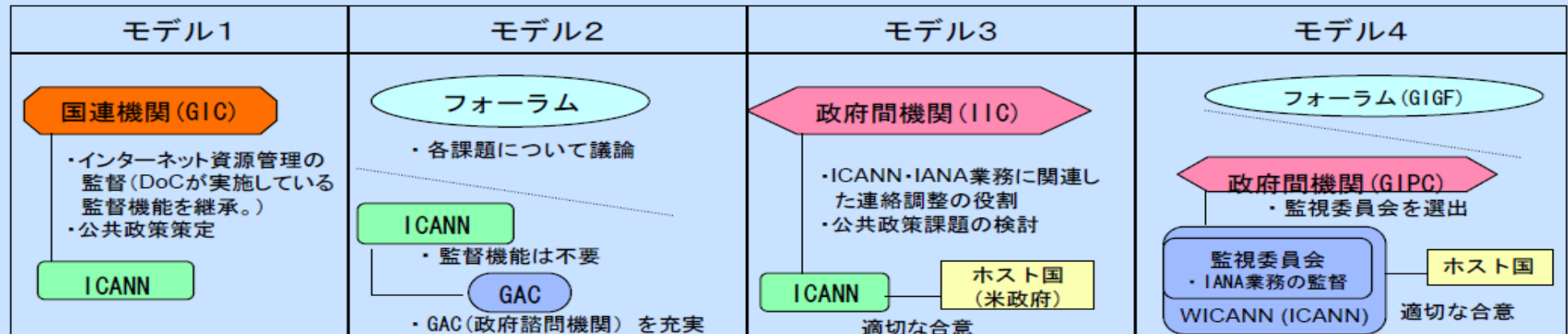
○「フォーラム機能」

インターネット・ガバナンスに関するあらゆる課題について、全てのステークホルダーの間で対話ができるような新たなスペースを設けるべき。望ましくは国連とリンクさせるべき。

○「グローバルな公共政策と監督」

- ・一国の政府が、国際的なインターネットガバナンスの中で突出した役割を持つべきではない。
- ・ガバナンス機能のための組織形態は、政府、民間部門、市民社会及び国際機関の完全な参加によるもので、多国間、透明および民主的なものでなければならない。
- ・インターネットの継続的な国際化と普遍性の原則に照らし、既存のガバナンスメカニズムについて見直しが必要。

【今後の検討のために以下の4つの組織モデルを提案】



参考：WSISチュニス会合の合意内容（2005年11月）

1. インターネットのガバナンス問題

- 現状のICANN体制は維持するが、継続検討とする
- ccTLDの管理は、各国の自治を認める
- 各国政府が平等に役割、責任を持つことを確認し、Enhanced Cooperationを求める

2. フォーラム(IGF)の設立

- IGに関連した公共政策問題を議論する場
- 既存の機関等を置換するものではなく、監督権限なし
- 国連が事務局を設け、すべてのステークホルダーが参加する

ありがとうございました

ぜひ京都で会いましょう
それまでもいろいろなイベントを企画しています。
Youthの皆さんの参加、大歓迎です。